

# 第51回 『あいおの会』

## - 失語症友の会 -

### 1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

### 2、第51回「あいおの会」

平成28年6月5日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様10名とご家族様5名、言語聴覚士12名、実習生2名が参加し、29名の方々が集まりました。こんなにたくさんの方が集まったのは、久しぶりでしたね。

今回は、「語想起ゲーム」「サイコロトーク」の2つを行いました。語想起ゲームでは、お題に基づいて、他の人が考えそうにない言葉をたくさん考えました。サイコロトークは、さいころの目に従って、“感動した話”や“好きな芸能人”など自由にお話ししてもらいました。

お茶菓子は、間瀬のみかんゼリーとコーヒーです。涼しげで、さっぱりしたお菓子をご用意しました。

最後には、「雨ふり」と「見上げてごらん夜の星を」を歌いました♪大勢で歌うととても楽しい気持ちになりますね。次回も、たくさんの方がご参加されることを楽しみにしています。

次回は平成28年8月7日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院 地下会議室で行います。



みなさん、真剣に考え中です・・・。



何ができるかな♪ 何ができるかな♪